

やすらぎ

平成26年1月発行



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
芙蓉ミオ・ファミリア町田
グループホームあおぞら
千葉芙蓉病院
きよらの樹ケアセンター

新年のご挨拶と抱負

芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

新年明けましておめでとうございます。今回の年末年始は暦の関係で長期休暇を取られた方も多かったと聞いております。所謂「アベノミクス」の好影響で景況感は多少改善されているようですが、4月に実施される消費増税後の動向も気になるところです。

去る1月6日に、「介護型療養病床 全廃撤廃」という報道がありました。昨年8月に開催された社会保障審議会医療保険部会において、行政側から「介護型療養病床の廃止は凍結ではなく、法律上廃止となっている。再議論が起こるわけではない。」というコメントがありながらの、今回の撤廃報道には大変驚愕しています。世論の後押しが理由の一つであると推測していますが、経営を左右する重要な問題ですので、今後も情報収集に力を注ぎたいと考えております。

さて、先の法人内の新年挨拶で「人間力の強化」についてお話をしました。主旨は、難しい事を理解し、学んで欲しいという事ではなく、常識的な行動・発言等を今一度考えてみようということです。医療、介護上の特殊な技術方法（マニュアル的なもの）は、取得できても、常識的な部分が疎かになっては元も子もありません。まずは挨拶や、他者への思いやり等、普段、忙しさを理由にないがしろにしていなか振り返ってみましょう。業界全体、大げさに言えば社会全体が忘れがちなこの、人間力という部分について、今年は課題にしたいと考えております。私が理事長に就任してから言い続けている「当たり前前の事を当たり前にする組織、集団に築きあげていきたい」の骨幹であり、私自身、周りの環境に惑わされることなく、進むべき道を信じて率先躬行して参る所存です。

末筆ながら、本年がご利用者の皆様、スタッフの方々にとって実り多く、幸せな一年となりますよう心から祈念しております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年はじめに

ふよう病院 院長 佐藤 勉

皆様、あけましておめでとうございます。本年も利用者様、患者様を中心に、温かい介護・看護を目指して努力したいと思います。

最近の新聞や雑誌・週刊誌の見出しで必ず目につくのは「超高齢者社会」です。記事の中には「多死社会」「孤独死」「2025年ショック」などで、介護から看取り、葬儀までの近未来予測です。今まで死を直視せず、遠ざけてきた日本人も大震災後は少しずつ死と向かいあうようになってきました。特に現在は自立している団塊前後の世代は、やがて何らかの原因で自分たちにも死が訪れることを納得していますが、何よりも一番切実な願いとして、家族や社会への迷惑・負担をかけずに、人間としての尊厳を保って安楽に死にたいという願いがあります。

特に寝たきりになった時、最後まで下の世話で家族に面倒をかけたくないと願う人々は多く、彼らの参拝が絶えないのが、日本各地にある「ポックリ寺」と呼ばれる寺です。ある雑誌によると、訪問者の90%は女性で一番多いのは60代主婦、次いで50代主婦です。大方は亭主と実母の祈願も併せて申し込み、お札を買ったり、下の世話にならぬようにと肌着を持参して御祈祷を受ける人が多いといえます。これほど下の世話にこだわる女性が多いのは、在宅で排泄の介護を体験する機会が少なくないので、その苦勞を知っているからでしょう。

昨年12月の院内研修会で紹介したように、最近、排泄支援の介護ロボット（「マインレット爽」）が開発され試験的に施設で導入されています。寝たきりの高齢者の排泄物を自動的に吸引し、湯水洗浄も行われ職員は手を汚さず、においの漏れもないという優れものです。今後これが普及すれば「ポックリ寺」を訪れる人が減るのではないのでしょうか。

ふよう病院 11 月院内職員研修会 『薬剤について』

- ・ 知っておきたい薬のリスクと、正しい使い方
- ・ インフルエンザに対する麻黄湯使用上の注意
- ・ 坐剤併用時の注意事項と基剤特性について

大規模災害発生に備えて

災害時には毎日使用していた薬を失う可能性があります。病院や調剤薬局のカルテや記録を閲覧することも出来ず、混乱の中では適切な投薬を受ける事が難しくなります。薬の種類によっては服用を急に中止すると薬のリバウンド現象や離脱症状など重大な副作用が引き起こされる可能性もあります。また、水不足により、薬の服用が困難になりますので、口腔内崩壊錠（OD錠）への選択も検討してみましょう。

混乱の中では、「疾患名」や「使用していた薬の名前」「用法・容量」が記載されているお薬手帳が大きな威力を発揮します。

*お薬手帳などの薬の情報をコピーして、緊急避難袋などに入れておく

*お薬手帳などの薬の情報をコピーして、遠くの親戚などに送って保管してもらいリスクを分

散させる

*携帯電話やスマートフォンを活用しメモに残したり写真を撮っておく

*薬の名前を覚えておく

以上いくつかを組み合わせるという時に、対処できるようにしておきましょう。

医師から処方された薬はどこ調剤薬局でも取り扱ってくれます。しかし受診する医療機関によって薬局を変えるのではなく、かかりつけの薬局・薬剤師を持つようにしましょう。



ふよう病院 12 月院内職員研修会 『ターミナルについて』

- ・ 年齢階級別に見た死亡者数の推移
- ・ 終末期に望む治療・栄養経路は
- ・ いつか迎える老化や死にしっかりと向き合うためには？

80 歳以上の死亡率のみ上昇している。これは治そうとしても治せない病気や老化で亡くなっているため、治す病気を治しても多くの方が亡くなる多死社会の現象である。一方で、自分が認知症の末期状態になった際、水分を補給する点滴を望むのは 47%、胃に穴をあけて栄養を入れる胃ろうを望むのは 6% という結果もある。また、認知症の終末期を過ごしたい場所は特別養護老人ホームや老人保健施設といった施設が最も多いが末期ガンでは自宅の希望が高かった。

自分がどのような場所で終末期を過ごしたいのか、日頃から考え、家族の間で十分に話し合うことが大切と言える。



新年会

2014年午年 年明けは晴天に恵まれた穏やかな1日で始まりました。8回目のお正月を無事に迎えることが出来ました。

昼食は、2階のご入居者も3階のフロアで一緒にお屠蘇で新年のご挨拶をして、おせち料理をいただきました。彩りよくきれいに盛り付けられたおせち料理は、まず、目で楽しみ、おしゃべりが味を一層引き立たせ、いつもより少し少し多いかなと思われたお祝い膳でしたが、おいしそうに召し上がっていらっしゃいました。



初詣

毎年、ミオ・ファミリアでは近くの熊野神社に初詣に行っています。今年は例年に比べ天候も良かったためでしょうかご入居者の希望が多く、予定日を増やして大勢の方に初詣に行ってくださいました。少し風が冷たく感じられる日もありましたが、皆様しっかりお参りされていらっしゃいました。



世代間交流

近隣の保育園の園児さんたちが、先生と一緒に遊びにきてくれました。初めての訪問だったため、最初は照れたり、はにかんだりしながら歌を歌ってくれました。その後は慣れた手つきで折り紙を折ってご入居者にプレゼントしていただきました。

園児さんたちを見守るご入居者の優しい眼差しは、普段の生活ではなかなかお見受けすることができない大変貴重なひとときです。そういう表情を拝見できる私どもも幸せを分けていただいているように感じます。また、園児さんたちがお越し下さることをお待ちしております。



初詣での道々で想う

千葉芙蓉病院 院長 大津 裕司

初詣に近くの鎮守の社に参るようになって久しくなりました。今年はいつもの年には無かったことに気づいたのです。一つは杜の路傍に踏むほどに椎と銀杏の実が落ちたままになっていたのです。もう一つは道すがらの農家の家畜小屋に牛馬の姿が見られなくなったことです。原因はいろいろあり、早談は許されないでしょう。

椎や銀杏の実を炒って、かつては子供のおやつでした。木の実は古来から人や動物にとって貴重な脂肪源でもあり、今でも肉食主義の人々には欠かせない大切な食物です。嗜好の変化からか、他に食べるものがあるせいか、拾う人が少なくなったのではないかと、思い巡らしているところです。一方、内燃機関の発達は農耕に荷駄の運搬にと牛馬の助けを必要としなくなったことは確かです。

発明発見は社会生活を便利にしますが、その一方で副作用ともいえるべき負の面が惹起されることは見逃せません。

卑近な例として生活習慣病が上げられます。最近のように流通機構が整備され豊富な食材が容易に入手できて、なおかつ好みのままに食べ、栄養のバランスが顧みられないとその結果、肥満、糖尿病、高血圧症が引き起こされます。一方では車に頼るなど身体活動が減少する傾向があり、これらの疾病を助長する相乗効果が齎されているのではないのでしょうか。

これからは負の面を考慮して平衡を保つ思考が大切だと思っています。

神社の新しい注連縄・絵馬に神々しい気分が引き立てられます。今年は増税があったりするものの、良い年になって欲しいと祈らずにはいられません。椎や銀杏の実を見るにつけ、第2次世界大戦前後の窮乏生活下で炒った香は忘れがたいものです、など思い思い家路をたどった次第です。

ニューイヤー・コンサート

きやらの樹ケアセンター施設長 嶋田 裕

私の新年はニューイヤー・コンサートを聞きに行くことから始まります。最も好きな曲目は「美しく青きドナウ」で、美しいドナウ河を連想させます。しかし実際には汚い河です。もし訪れる機会がありましたら、目を閉じてドナウ河を感じないようにすることをおすすめします。

New Year's Concert.

How did you spend your New Year's Holidays? I can't start my New Year without attending the New Year's Concert. Every year I go to the Suntory Hall in Tokyo on New Year's Day and listen to waltzes, polkas and operettas played by Volksoper from Vienna, Austria. Above all, I like "The Blue Danube" by Johan Strauss II, which is said to be the second National Anthem of Austria. Previously, I thought that the Danube is a very beautiful river imagined from the lovely melody of this music. Further, the title also says the river is beautiful and the water is blue. I had opportunities to see this river twice. At first in Germany. The river was muddy; neither transparent nor blue. I thought it was because of the rain the day before I visited. Later, I saw it in Hungary and was again disillusioned with its cloudiness. I gather the river was much cleaner 150 years ago when this waltz was composed in 1867 because of much less pollution. Finally, however, I reached the conclusion that, even if he were alive now, he must surely compose the music beautifully, because he feels that way through his heart.



クリスマス会

実行委員より

12月18日、少し早めのクリスマス会を2階・3階合同で開催いたしました。

余興として、ボランティアグループ緑晃会（りょくこうかい）の皆様8名による日本舞踊を6曲披露していただきました。

「通りゃんせ」に始まり、「小原節」「島のブルース」「天竜下れば」「おてもやん」、最後に勇ましく「白虎隊」を踊っていただきました。

昔懐かしい歌や踊りをまじかに見て、一緒に歌ったり、踊ったり。患者様の中には泣いている方もおられました。（ノロウィルス感染防止の為）面会謝絶の状況の中、有意義な楽しいひとときを過ごしていただけたようです。日本舞踊を堪能され、日頃見ることのない生き活きた表情や笑顔に出会うことができ、充実したクリスマス会を行うことができた実感いたしました。

クリスマス会を開催するにあたり、各コメディカル、病棟職員の協力により、無事に終了することができました。ありがとうございました。

厨房より

食事サービス部では行事食としてクリスマスメニューを提供しました。献立内容は、三種（ネギトロ・錦糸卵・鶏そぼろ）の手毬寿司、煮込みハンバーグ、コールスローサラダ、じゃがいものポタージュ、ショートケーキ、ホットミルクです。

手毬寿司は常菜の物と、スベラカーゼを使用して粥をペースト状に固めたスベラカーゼ餅の二種類をつくり、嚥下が難しい患者様にはスベラカーゼ餅を使った手毬寿司を提供しました。



ケーキもイチゴのショートケーキと、ムースケーキの二種類をつくり、患者様が食べられる方を選んでいただきました。スベラカーゼ餅の寿司を召し上がった患者様から、「固かった」という指摘を受けたので、次回からは丁度良い固さで提供出来るよう改善していきたいと思えます。ケーキは二種類とも好評をいただくことが出来て嬉しかったです。ボランティアの方々にもクリスマス行事食を提供し、喜んでいただけました。ありがとうございました。ご指摘を受けたところを改善し、より美味しい食事を提供出来るよう努力していきたいです。



厨房職員による試作献立 「ゆずの甘露煮」

材料

ゆず 1kg
砂糖 700g
酒 200cc
グラニュー糖 少々

作り方

- (1) ゆずの皮をピーラーで剥く。
- (2) 中の実を取り除き4つ割りにして5mm位に切る。
- (3) 砂糖・酒を入れ弱火で煮詰める。
- (4) 煮汁がなくなったら冷ましグラニュー糖でからめる。

評価（抜粋）

ゆず風味と甘さがよい／高齢者の好む味・香りであり喜ばれると思う／保存期間がきけば箸



休めに時に膳に添えたら喜ぶと思う／なつかしい作品である／香りがよい／苦味少なく美味しい／グラニュー糖のザラザラを感じる／やや皮の部分に硬いところあり／黄色が鮮やか／素材が活かされている

きゃらの樹食事サービス部

食べやすい食事づくり研究 「いちごのムースケーキ(6人分)」

材料

いちご 250g
砂糖 70g
牛乳 100cc
生クリーム 100cc
ゼラチン 10g
水 60cc
スポンジケーキ 適量

作り方

- (1) ゼラチンは水でふやかしておく。スポンジケーキを2cm厚に切り、型に隙間が無いように敷き詰める。
- (2) いちごはヘタを取り、砂糖を加えてミキサーで潰す。
- (3) ゼラチンをレンジでかるく加熱して溶かし、②を少しずつ加えて混ぜる。
- (4) (3)に牛乳と生クリームを入れて混ぜる。
- (5) (1)の型に注いで冷蔵庫で1、2時間冷やす。



工夫した点

クリスマス会に向けて、嚥下が困難な患者様にもケーキを食べていただきたいかったので、スポンジを薄くし上にムースをかけてしっとりとした食感にしてみました。

感想

口に残らず溶けるように食べられた/スポンジが薄い為、ムースが染み込んでしっとりとしているので、ミキサー菜を食べている方も飲み込みやすく、良いと思います/いちごの酸味が適度にあり良い/口の中で軽く潰せるので良いと思う

千葉芙蓉病院 食事サービス部

餅つき

きゃらの樹ケアセンターでは毎年1月に餅つきをしています。3階の食堂に全館のご利用者様に集合していただき、餅つきの実演をしました。もちろん、杵を振れるご利用者様には、「昔（今でも）とった杵づか」を披露していただきます。この地域では家庭行事としていまだに杵と臼でもちつきをする家庭があります。リハビリを活かして来年もたくさんのご利用者様に杵を振っていただきたいものです。



書初め大会

書初めをしました。さすが毛筆に慣れ親しんだ世代？止める、払うなど要所をきちんと押さえた筆運びには見習うところが満載です。作品は施設内に展示されておりますのでご鑑賞ください。

